

都市・地域計画（出題意図）

問題Ⅰ

日本の土地利用・都市計画制度に関する基礎的な仕組みと、近年の都市計画・まちづくりに関する重要なキーワードに関する理解を確認する。特定の政策や立場を「是」とすることを求めるのではなく、事実関係を踏まえて、自分なりの整理や評価を論理的に説明できる力を重視する。

- (1.1) 日本の土地利用計画制度に関する基本用語を、国土全体での位置づけと関連させて理解しているかを問う。
- (1.2) 区域区分制度に関する課題を、自分の言葉で整理して説明する力を問う。取り上げた課題が明確で、議論の根拠が明確であれば評価対象となる。
- (2) 都市計画に関する基本用語を、制度間の階層関係を含めて理解しているかを問う。
- (3) 近年注目されている都市計画・まちづくりの用語について、概要、社会的背景や都市・地域計画上の意義の理解と簡潔に説明する力を問う。

問題Ⅱ

交通渋滞問題について、交通計画および交通工学の双方の観点から、基礎的な理解を有しているかを確認する。

前半では、交通容量拡大策や交通需要マネジメント（TDM）といった政策的・計画的対応に関する理解を問い、後半では、ボトルネックにおける渋滞発生メカニズムや遅れ時間の概念を用いた定量的分析能力を確認する。概念理解と簡単な数理的処理の両方を適切に使い分けられるかを重視する。

- (1.1) 道路建設などによる交通容量拡大が、短期的には渋滞緩和効果を持つ一方で、中長期的には「誘発需要」によってその効果が相殺されうること理解しているかを問う。
- (1.2) 交通需要そのものを抑制・分散する政策である TDM (Transportation Demand Management) の基本的考え方を理解し、具体例とともに説明できるかを問う。
- (2.1) ボトルネックにおける交通渋滞の基本的な発生・解消メカニズムを理解し、渋滞開始時刻、最大待ち行列時刻、渋滞解消時刻を適切に読み取れるかを問う。
- (2.2) 交通渋滞によって生じる遅れ時間の概念を理解し、到着時刻に応じた遅れ時間を関数として表現できるかを問う。
- (2.3) (2.2)で求めた遅れ時間関数を用いて、総遅れ時間を計算できるかを問う。簡単な積分計算を通じて、交通工学における量的評価の基礎的理解を確認する。

問題Ⅲ

観光産業の経済的重要性を踏まえつつ、オーバーツーリズムという現代的課題について、外部性の概念を用いて分析し、短期的利益と長期的リスクをバランスよく評価できるかを確認する。また、経済理論を観光政策（課税・補助）に応用できるかを問う。

(1.1) オーバーツーリズムの概念を正しく理解し、単なる観光客増加ではなく、地域の受容限界（キャリングキャパシティ）超過が問題である点を説明できるかを問う。

(1.2) 正の外部性・負の外部性の定義を理解しているかを問う。

(2) 観光の短期的経済効果と、長期的な環境・社会的影響を区別し、正負両面から評価できるかを問う。

(3.1) 負の外部性を内部化する政策手段としてのピグー税を理解し、観光分野に応用できるかを問う。

(3.2) 補助金を用いた観光需要の時間的・空間的分散について、正の外部性の活用という観点から説明できるかを問う。